

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
レクリエーションアクティビティⅡ Recreation Activity Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(「レクリエーションインストラクター」「スポーツプログラマー」「ジュニアスポーツ指導員」資格取得者科目)	「レクリエーションアクティビティⅠ」を履修済みのこと
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
レクリエーションアクティビティⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山内健次	本館2階	木曜・金曜 9:00～16:00 (授業時間中は除く)		授業中に指示します
授業の概要				
「レクリエーションアクティビティⅡ」では様々なレクリエーション財(素材)を実際に体験することから、その楽しさの本質を知り、レクリエーション主体者にどのような支援をすればより面白さを伝えることができるのかを考えてもらう。また受講者各人がレクリエーション支援プログラムを作成・発表し、支援者としての技術向上を目指す。				
授業の目標				
①色々なレクリエーション財(素材)についてその楽しさについて説明できるようにする。 ②レクリエーション主体者に応じたレクリエーションプログラムの作成ができるようにする。 ③レクリエーション支援についての基本的スキルが実践できるようにする。 ④幼児・児童を対象としたレクリエーション支援を行う際の留意点について説明できるようにする。				
授業の方法				
実技とグループワークが中心となる。				
学習の成果(学習成果)				
①幅広いレクリエーション財についての展開ができる。 ②幼児・児童・青年・高齢者など対象者に応じたレクリエーションプログラムの作成ができる。 ③ホスピタリティやコミュニケーションワークなど基本的な支援スキルが実践できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の進め方、成績評価方法、レクリエーション関連資格について)			
第2回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験①(自然体験……ネイチャーゲーム)			
第3回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験②(高齢者施設……遊びリテーション)			
第4回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験③(介護予防……ニューススポーツ)			
第5回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験④(子どもの居場所づくり……チャレンジ・ザ・ゲーム①)			
第6回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験⑤(子どもの居場所づくり……チャレンジ・ザ・ゲーム②)			

第7回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験⑥（子ども会活動・・・手作りおもちゃ・折り紙）	
第8回目	幼児や児童を対象としたレクリエーションの実際①	
第9回目	幼児や児童を対象としたレクリエーションの実際②	
第10回目	グループワークトレーニング	
第11回目	レクリエーション支援案の作成とその発表・評価①	
第12回目	レクリエーション支援案の作成とその発表・評価②	
第13回目	レクリエーション支援案の作成とその発表・評価③	
第14回目	レクリエーション支援案の作成とその発表・評価④	
第15回目	レクリエーション支援案の作成とその発表・評価⑤	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に与えられた課題に対して前向きに取り組んでいる。 ・グループワークに積極的に取り組んでいる。 ・必要な事項をきちんとノートに記録している。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	各グループで作成したレクリエーション支援案を発表する。プログラムが目的に合っているか、楽しいものであるか、説明が適切に行われているかなどで評価する
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「いらはんやさしいレクリエーションゲーム全集」（成美堂出版）		
参考図書：「レクリエーション支援の基礎」「事例でなっとく！よく分かる福祉レクリエーション・サービス実施マニュアル」（ともに日本レクリエーション協会編）		
「これからのレジャー・レクリエーション ～全職社会に向けて～」 弓箭書院		
履修上の留意点・ルール		
<ul style="list-style-type: none"> ・演習やグループワークでの積極的な参加（皆で楽しむ姿勢） ・教室への飲食物不可と携帯電話の厳禁 		